

テーマ 博多らしい景観を取り戻したい。

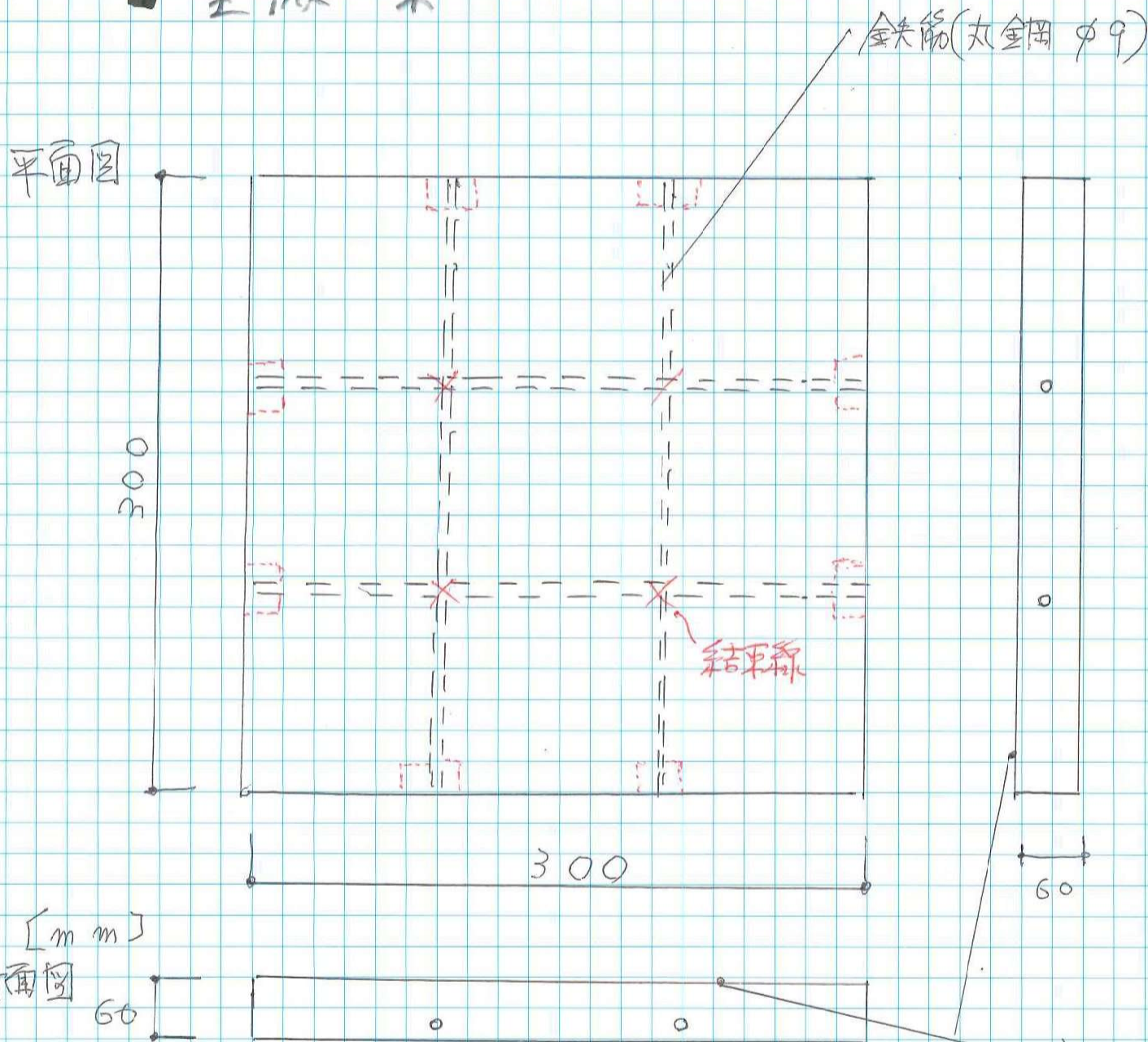
～ 博多堀風モルタル版(壁版)の製作と活用～

史跡「博多堀」をモチーフに土をモルタルにかえて製作(地域の方や学生が)した版を福岡市内のサインとしてベンチ、公衆トイレの隔壁、バスの停留場、公園の壁面に設置する。

設置しやすいように、配筋を強化したものを製作したい。

了望したい点 → 400年前の先人の「ものづくり」「ものを大切に利用する心」を現代に
よみがえらせた!!

● 壁版の案



材料: モルタル
(セメント: 砂 3 重量比)
水セメント比 50%
川石 → 川よりかきう
(法に準じた程度)
瓦 → 瓦屋さんに楽瓦
をいただく

版の上面に別紙(写真)のように川石や瓦片を圧入して製作する。

※この「ものづくり」を考えたのは私です。授業の中で生徒と共に製作しています。配筋は壁版は作ったことはありません。博多堀は福岡市内や博多区を traversing する河川のしがしーであると考えています。

寸法
300
x
300
x
69
mm



参考
資料

私が製作した物



全徒が製作の物

生徒が
製作した物

鉄筋も入った
壁版は製作
した：とが守り。



うきは市の
り色ふり土管前
の舗装に活用している
だいたい。(39枚寄贈)



博多塀風モルタル版の研究・製作について

1 はじめに

平成30年度の課題研究のテーマとして、和風住宅の玄関アプローチの舗装版のデザインを考えていました。試行錯誤して櫛田神社内にある史跡であるリサイクル塀（土塀に瓦や石を詰め込んだもの）博多塀の床版への転用を考えました。すでに住宅のアプローチの舗装には、タイル張り、洗い出し、置石、（張石）、レンガ、枕木等の利用があるのは周知のことですが、博多らしさ、和を感じるたたずまい、更に廃材利用（活用）を考えて研究し、製作を始めました。耐久性や強度を考慮して土ではなくモルタルを主材料に利用することに決めました。平成29年度はコンクリート版を製作していましたので、それを基礎として取り組みを始めました。これはSDGsの取り組みで9、11、12に該当すると考えます。

2 製作手順

不要な割れた和瓦等を瓦屋さんから提供いただいた。川石は長崎県佐々川の石を拾ってきて準備した。まず木枠を事前に製作しておきます。その木枠（300mm×300mm×60mm）に、モルタルを2層に分けて打設します。その後少し時間をおいて（瓦の沈下を考慮して）割れた瓦やひろった川石を押し入れて製作しています。水セメント比は50パーセント～55パーセント、配合割合は水1に対し砂2～3で試しています。脱型は3日後に行います。養生は水槽が小さいので、散水養生とし28日行います。床版は、瓦や石のモルタル上端からの出を1mm～3mmとしています。壁版は、出を10mm程度としています。数枚の版の着色は、着色剤を使い「あずき色」にしています。和を感じる色です。

3 実績

平成30年度 福岡工業高校では健康住宅(株)のモデルハウスに採用いただき61枚を寄贈しています。建物は和風住宅ではありませんが、庭のアクセントとして活用いただいています。

令和元年度 浮羽工業高校では、博多塀風モルタル版を39枚をうきは市のるり色ふるさと館の舗装材として寄贈しています。今年は近隣の紅乙女酒造(株)様のお食事処のアプローチ用として60枚提供予定です。今後も公園等の舗装や施設の腰壁等に利用いただけるよう近隣市役所や企業様にPR活動を行う予定です。SDGs啓発活動（版の展示）は天神中央公園を含め2箇所で行っています。

4 連絡先 ご質問等ございましたら、次のメールアドレスへ

博多塀風モルタル版の研究・製作

Ukiha Technical High School's Project: Mortar Tiles in the style of the Hakata Wall

1 製作過程 Construction Process

福岡市の史跡「博多塀」をモチーフに、土をモルタルに置き換えて製作しました。

「和」や「博多」を感じる佇まいの床版・壁版です。

Using the Fukuoka City ruins (the Hakata wall) as a motif, the students used a mix of cement, sand, and water to make the mortar. The floor and wall tiles instill a sense of "Japan" and "Hakata."

2 版の活用例 1 Tile Application Example 1

① 2018年、福岡工業高校が製作した版を健康住宅㈱のモデルハウスに61枚提供しています。



In 2018, 61 tiles, made by Fukuoka Technical High School, were given to the Kenkoh Jutaku Company's Model House.

版の活用例 2 Tile Application Example 2

② 2019年、浮羽工業高校で製作した版をうきは市の「ふるさと館」に提供しています。

(写真は搬出前に並べた状態です)



In 2019, these tiles made by Ukiha Technical High School, were donated to the Ukiha City Furusatokan.
(This photo was taken before the tiles were displayed)